

CII 標準ベース XML/EDI
マッピング規則バージョン 1 . 1
第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージ

平成 1 3 年 3 月 2 9 日

(財) 日本情報処理開発協会
電子商取引推進センター

目次

まえがき

1. 適用範囲
2. 引用規格
3. 使用文字コード
4. 構成要素の定義
5. 論理レコード
6. データ要素の種類と属性・長さの表記法
7. データ要素の詳細
8. メッセージグループヘッダの構造
9. メッセージの構造
10. バイナリデータの扱い
11. 特殊データの構造
12. メッセージグループの構造
13. 交換単位の構造

附属書 1 (参考) XML 電文の例 (その 1)

附属書 2 (参考) XML 電文の例 (その 2)

まえがき

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則は、次の二つの部からなる。

第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージ

第 2 部 簡易形メッセージ

第 1 部は CII シンタックスルールとの完全な互換性を保ち、相互変換可能な XML 電文を生成するためのマッピング規則である。

第 2 部は、メッセージグループの構造を省き、1 交換単位が一つのメッセージだけを含む、簡易な構造の XML 電文を生成するためのマッピング規則である。

1. 適用範囲

この規則は、CII シンタックスルールに基づいて開発された、EDI 標準メッセージを、インターネット EDI (Web, E-mail 等) でも活用するため、XML (Extensible Markup Language) にマッピングする場合にのみ適用する。

なお、CII 標準ベース XML/EDI の交換単位は整形形式 (Well-formed) の XML 文書とする。

2. 引用規格

JIS X 0201:1997 7 ビット及び 8 ビットの情報交換用符号化文字集合

JIS X 7012-1:1999 行政 / 産業情報交換用構文規則 (CII シンタックスルール)

第 1 部：構成要素

JIS X 7012-2:1999 行政 / 産業情報交換用構文規則 (CII シンタックスルール)

第 2 部：メッセージグループの構造

JIS X 7012-3:1999 行政 / 産業情報交換用構文規則 (CII シンタックスルール)

第 3 部：短縮形メッセージグループの構造

TR X 0008:1998 拡張可能なマーク付け言語 (XML)

TR X 0015:1999 XML 日本語プロファイル

3. 文字集合及び文字コード

使用できる文字集合は、JIS X 7012-1, -2, -3 (CII シンタックスルール 3.00) と同一とする。文字符号化はこの規格では規定しない。ただし、文字符号化は XML 1.0 の仕様に規定された中のいずれかでなければならない。

備考：

この規格のこのバージョンでは、文字符号化は実装の事情により決定するものとするが、決定にあたっては、相互運用性の確保に留意することが望ましい。実装にあたっては TR X 0015:1999 XML 日本語プロファイルを参照されたい。

なお、文字符号化によっては 8 ビットのカタカナは使用できない。8 ビットのカタカナを使用したい場合は、シフト JIS を使用しなければならない。

JIS X 7012-1, -2, -3 (CII シンタックスルール 3.00) の規定と同様に、文字コードとしてシフト JIS を使用する場合を除き、同一データ要素内での 16 ビット文字と 8 ビット文字の混用はしてはならない。データ要素内でコードエクステンションテクニックは使用してはならない。

4. 構成要素の定義

CII 標準ベース XML/EDI の構成要素の定義は、特に規定しない限り、JIS X 7012-1, -2, -3 (CII シンタックスルール 3.00) に従う。

5. 論理レコード

5.1 論理レコードの種類及びXML/EDIへのマッピング

JIS X 7012-1, -2, -3 (CII シンタックスルール 3.00) で規定されている論理レコードの種類と、XML/EDI でのマッピングは次の通りである。

表1 論理レコードの種類及びXML/EDIへのマッピング

論理レコードの種類	略記号	XML/EDIへのマッピングの有無
同報ヘッダ	BCH	無
メッセージグループ・ヘッダ	MGH	有
業務メッセージ	TRM	有
受信確認メッセージ	AKM	有
エラー情報メッセージ	ERM	有
セキュリティ・ヘッダ・メッセージ	SHM	無
サブ・セキュリティ・ヘッダ・メッセージ	SSH	無
セキュリティ・トレーラ・メッセージ	STM	無
バイナリー・データ・ヘッダ	BDH	無
バイナリー・ユニット	BU	無
バイナリー・データ・トレーラ	BDT	無
メッセージグループ・トレーラ	MGT	無

5.2 電文の階層構造

CII 標準ベース XML/EDI 電文の階層構造を次に示す。

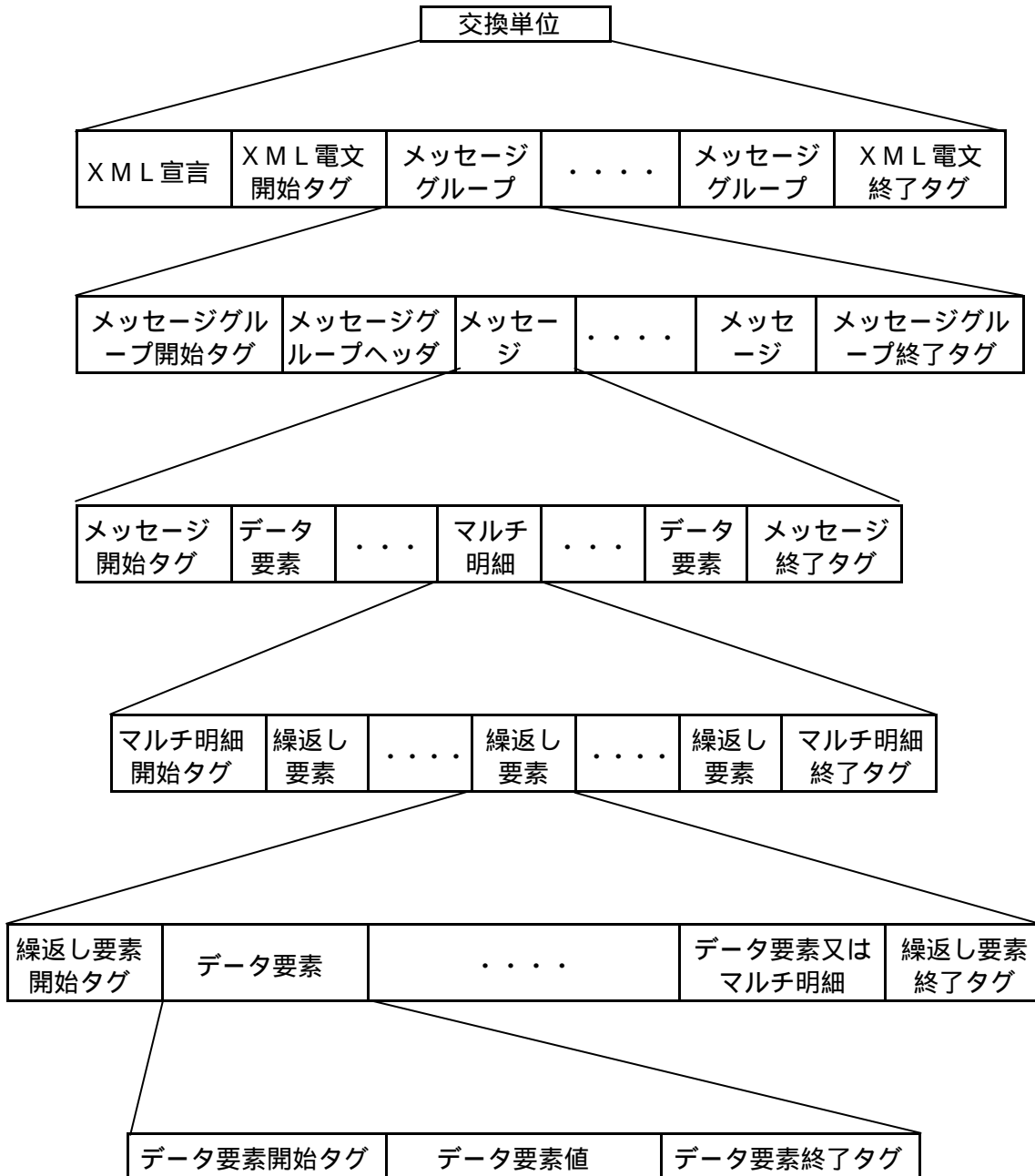


図1 CII 標準ベース XML/EDI の階層構造

5.3 電文の構成要素及びその XML タグ

CII 標準ベース XML/EDI 電文の構成要素及びその XML タグを次に示す。

表2 CII 標準ベース XML/EDI の構成要素と XML タグ

構成要素	XML タグの値
固定長データ要素	記号名に JP を付けたもの又はメッセージ仕様に定められたデータ要素名称 (注)
可変長データ要素	タグ番号に JP を付けたもの
マルチ明細	JPM
繰返し要素	JPMR
業務メッセージ	JPTRM
受信確認メッセージ	JPAKM
エラー情報メッセージ	JPERM
メッセージグループヘッダ	JPMGH
メッセージグループ	JPMGRP
交換単位	CII-MSG

(注) メッセージ仕様に定められたデータ要素名称には、XML のタグ内で使用できない文字が含まれている場合がある。その場合は、意味の変わらない適当な文字に置き換えなければならない。

例

<商品名(漢字)> 使用できない(及び)を含む。

<商品名-漢字-> 括弧をハイフンに置き換える。

使用可能な文字については TR X 0008 拡張可能なマーク付け言語 (XML) の 2.2 及び 2.3 を参照のこと。

6. データ要素の種類と属性

6.1 固定長データエレメント

固定長データエレメントの XML タグは記号名に JP を付ける。

伝送上のフォーマットは、可変長データ要素と同じ形を取る。しかし、CII 標準ベース XML/EDI では、メッセージグループヘッダを構成するデータ要素など、固定長データ要素のデータ長は、JIS X 7012-1, -2, -3 (CII シンタクスルール 3.00) で定められた固定長データ要素のデータ長と同じ長さでなければならない。

6.2 可変長データ要素

CII 標準のデータ要素値を XML/EDI にマッピングする際の規則を次に示す。ただし、使用する文字コードは、XML 処理系に合わせて選択しなければならない。

(1) 8bit 文字列 (X 属性)

X 属性のデータ要素はそのままマッピングする。ただし、データ要素値の中に改行及びタブを含んではならない。

また、XML の文法で予約された文字がデータ要素値内に出現する場合、これらの文字は、XML の文法で規定された実体参照に置き換えなければならない。予約文字のうち、< 及び & の 2 文字は、必ず実体参照で記述しなければならない。> ‘ 及び ” の 3 文字の実体参照は任意使用である。なお、CII 標準ベース XML/EDI では、データ要素値内に C D A T A セクションを記述してはならない。

表 3 XML 予約文字と実体参照

文字	実体参照
<	<
>	>
&	&
‘	'
“	"

例えば、X+Y<Z というデータ要素値は、X+Y<Z に変換しなければならない。

(2) 8bit 単位ビット列 (B 属性)

XML は文法上文字コード以外のデータを含むことができないため、B 属性データ要素は、4 ビット毎に 16 進数を表す文字に変換してマッピングする。従って、n バイトの B 属性データ要素は、2 n バイトの 16 進文字列にマッピングされる。

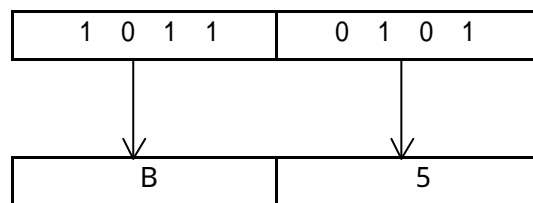


図 2 B 属性データ要素値の変換

16 進文字列は 0 ~ 9 及び A ~ F の文字を使用する (a ~ f は使用禁止)。

もっとも右側にある 00 以外のビット列よりも右側にある 00 を省略することが出来る。

例えば 002F4C000000 は 002F4C と省略して良い。

(3) 16bit 文字列 (K 属性)

K 属性データ要素はそのままマッピングする。

備考： 使用する文字コードは，XML 処理系に合わせて選択しなければならないため，変換を必要とする場合がある。

(4) 数値データ要素 (9 属性)

9 属性データ要素はそのままマッピングする。

備考： 例えば，9 (1 2) V (3) のように小数点を含む 9 属性データ要素は，ブラウザで表示する場合には，スタイルシート内にスクリプトを記述する等の対処を行い，小数点を挿入するか，又は整数部及び小数部の識別ができるように工夫しなければならない。

(5) 数値データ要素 (N 属性)

N 属性データ要素はそのままマッピングする。

(6) 年月日 (Y 属性)

XML/EDI では Y (8) のみ使用可とし，Y (6) の使用を原則として禁止する。

7 . データ要素の詳細

7 . 1 データ要素の構造

CII 標準ベース XML/EDI では，固定長データ要素，可変長データ要素のいずれも，次の構造でデータ要素を送受する。

データ要素開始タグ	データ要素値	データ要素終了タグ
-----------	--------	-----------

図 3 データ要素の構造

7 . 2 データ要素のタグ

7 . 2 . 1 可変長データ要素のタグ

業務メッセージ内で使用する可変長データ要素のタグは，CII 標準のメッセージ仕様で定義されたデータ要素のデータタグ番号の前に，「JP」を付けたもの又はメッセージ仕様に定められたデータ要素名称とする。

例：データタグ番号 = 00001 の「データ処理 No.」では，開始タグは <JP00001>，終了タグは </JP00001> である。

データタグ番号は，0 ~ 9 9 9 9 9 の範囲では，5 桁で，1 0 0 0 0 0 ~ 5 2 4 2 8 7 の範囲は 6 桁で表現する。データタグ番号が，5 桁に満たない場合には，左側にゼロを補い 5 桁とする。

誤ったタグの例： <JP12> ， <JPM123>

正しいタグの例： <JP00012> ， <JP00123>

7.2.1 固定長データ要素のタグ

メッセージグループヘッダを構成するデータ要素等，JIS X 7012-1，-2，-3（CII シンタクスルール 3.00）で定義された固定長データ要素のタグは，データ要素の記号名（データタグ番号に相当する）の前に「JP」を付けたものとする。

例：記号名=C09「受信者コード」では，開始タグは<JPC09>，終了タグは</JPC09>である。

8. メッセージグループヘッダの構造

メッセージグループヘッダは，メッセージグループヘッダ開始タグ<JPMGH>で始まり，次に示すデータ要素を含み，メッセージグループヘッダ終了タグ</JPMGH>で終わる。

メッセージグループヘッダ開始タグ	データ要素	・・・	データ要素	メッセージグループヘッダ終了タグ
------------------	-------	-----	-------	------------------

図4 メッセージグループヘッダの構造

CII 標準ベース XML/EDI のメッセージグループヘッダは，表4に示したデータ項目から成る。メッセージグループヘッダ内のデータ要素の出現順序は表4に示した順序に従わなければならない。

表4 メッセージグループヘッダのデータ要素

XMLのタグ	データ要素名	必須/任意
JPC03	運用モード	必須
JPC04	発信 EDI サービス事業者コード	任意
JPC05	発信センターコード	任意
JPC06	発信者コード	必須
JPC07	受信 EDI サービス事業者コード	任意
JPC08	受信センターコード	任意
JPC09	受信者コード	必須
JPC10	B P I D機関コード	必須
JPC11	B P I D副機関コード	必須
JPC12	B P I D版	必須
JPC14	情報区分コード	必須
JPC17	様式種別	任意
JPC18	交換参照番号	任意
JPC19	作成日付時刻	必須
JPC21	構文規則識別版数	必須
JPC23	格納モード	任意
JPC24	1 バイト文字集合	任意
JPC25	2 バイト文字集合	任意
JPC29	短縮表示	任意
JPC30	発信 EDI サービス事業者コード管理機関コード	任意
JPC31	発信センターコード管理機関コード	任意
JPC32	発信者コード管理機関コード	任意
JPC33	受信 EDI サービス事業者コード管理機関コード	任意
JPC34	受信センターコード管理機関コード	任意
JPC35	受信者コード管理機関コード	任意

注) 表中で、必須とされているデータ要素に、値を設定しない場合は、空の開始タグ及び終了タグだけを交換する。

備考: それぞれのデータ項目の定義、データ型及び長さは J I S X 7 0 1 2 - 1 ,
- 2 , - 3 (C I I シンタクスルール 3 . 0 0) による。

9. メッセージの構造

9.1 メッセージ

メッセージは、7.1に規定した構造のデータ要素の集合である。JIS X 7012-1, -2, -3 (CII シンタクスルール 3.00) のメッセージヘッダはメッセージ開始タグに TFD 終端子はメッセージ終了タグにマッピングする。

メッセージ 開始タグ	データ要素又は マルチ明細	...	データ要素又は マルチ明細	メッセージ 終了タグ
---------------	------------------	-----	------------------	---------------

図5 メッセージの構造

9.1.1 通常のメッセージグループ内のメッセージ

メッセージは、メッセージ開始タグ<JPTRM SEQ="x"> (xはシーケンス番号, 最大5桁)で始まり、一つ以上のデータ要素及び/又はマルチ明細を含み、メッセージ終了タグ</JPTRM>で終わる。

シーケンス番号 SEQ は、同一メッセージグループ内のメッセージの順番を表す5桁の番号。メッセージグループヘッダ直後のメッセージに1を付番し、以後、昇順に付番する。

9.1.2 短縮形メッセージグループ内のメッセージ

メッセージは、メッセージ開始タグ<JPTRM SEQ="1">で始まり、一つ以上のデータ要素及び/又はマルチ明細を含み、メッセージ終了タグ</JPTRM>で終わる。

9.2 マルチ明細

9.2.1 マルチ明細の構造

マルチ明細はマルチ明細開始タグ<JPM MN="x"> (xは明細番号)で始まり、一つ以上の繰り返し要素を含み、マルチ明細終了タグ</JPM>で終わる。

CII 標準ベース XML/EDI の繰り返しは、JIS X 7012-1, -2, -3 (CII シンタクスルール 3.00) と同様「明細番号付き」の繰り返しのみとする。

マルチ明細 開始タグ	繰返し要素	繰返し要素	繰返し要素	マルチ明細 終了タグ
---------------	-------	-------	-------	-------	-------	---------------

図6 マルチ明細の構造

9.2.2 繰返し要素の構造

繰返し要素は、繰返し要素開始タグ<JPMR MN="x"> (xは明細番号)で始まり、一つ以上のデータ要素及び/又はマルチ明細を含み、繰返し要素終了タグ</JPMR>で終わる。

繰返し要素 開始タグ	データ要素又はマ ルチ明細	データ要素又は マルチ明細	繰返し要素 終了タグ
---------------	------------------	-------	------------------	---------------

図7 繰返し要素の構造

9.2.3 繰返し要素の省略

繰返し要素を省略する場合、何番目の繰返し要素が省略されたかを明示しなくても良い場合と、明示したい場合とがある。

省略された繰返し要素を明示しなくてもよい場合には、省略する繰返し要素は、開始タ

グ<JPMR MN="X">及び終了タグ</JPMR>も省略する。この場合、省略された繰返し要素の後に続く繰返し要素が、省略された繰返し要素の位置に繰り上がる。

省略した繰返し要素が、何番目の繰返し要素であることを明示したい場合には、省略した繰返し要素の位置に、空の繰返し要素<JPMR MN="X"></JPMR>又は<JPMR MN="X"/>を残さなければならない。ただし、その繰返し要素の後ろの繰返し要素もすべて省略する場合には、空の繰返し要素は残してはならない。

例えば、最大繰返し回数が8回のマルチ明細（明細番号は‘1’）において、3番目、5番目、7番目及び8番目の繰返し要素を省略し、かつ省略したことを明示する場合には以下のようなになる。

```
<JPM MN="1">
  <JPMR MN="1"> データ要素 . . . データ要素 </JPMR>
  <JPMR MN="1"> データ要素 . . . データ要素 </JPMR>
  <JPMR MN="1"></JPMR>
  <JPMR MN="1"> データ要素 . . . データ要素 </JPMR>
  <JPMR MN="1"></JPMR>
  <JPMR MN="1"> データ要素 . . . データ要素 </JPMR>
</JPM>
```

9.2.4 明細番号

CII 標準ベース XML/EDI におけるマルチ明細番号は、JIS X 7012-1, -2, -3 (CII シンタクスルール 3.00) に規定された、Aタイプマルチ明細、及びDタイプマルチ明細に対応して、表5のように付番する。

Aタイプマルチ明細のマルチ明細番号は1桁でなければならない。

Dタイプマルチ明細のマルチ明細番号は左側のゼロをサプレスしなければならない。すなわち<JPM MN="10">は正しいが、<JPM MN="00010">は誤りである。

表5 マルチ明細の明細番号

マルチ明細のタイプ	明細番号の範囲	CII 標準ベース XML/EDI における明細番号
Aタイプマルチ明細	‘1’ (16進数31) ~ ‘ ’ (16進数7E)	JIS X 0201の表1「ラテン文字用図形集合」におけるビット組み合わせ16進数31から7Eまでの文字(注)
Dタイプマルチ明細	10 ~ 65535	‘10’ ~ ‘65535’ (左側のゼロはサプレスする)

(注) この範囲の文字には‘<’及び‘>’が含まれるが、これらは<及び>と

しなければならない。

Aタイプマルチ明細にマッピングするマルチ明細のタグは、<JPM MN="1"> ~ <JPM MN="~">となる。

Dタイプマルチ明細にマッピングするマルチ明細のタグは<JPM MN="10"> ~ <JPM MN="65535">となる。

9.3 メッセージ内のデータ要素の出現順序

JIS X 7012-1, -2, -3 (CII シンタクスルール 3.00) と同様に, CII 標準ベース XML/EDI のメッセージ内又はマルチ明細内のデータ要素及びマルチ明細の出現順序には制限がなく, 自由に出現順序を入れ替えても良い。

備考: DTDを使用する場合に限り, CII 標準ベース XML/EDI のメッセージ内でのデータ要素及びマルチ明細の出現順序は, DTDで記述した順序のとおりでなければならない。

10. バイナリデータの扱い

設計画像等のバイナリデータは, CII 標準ベース XML/EDI では規定しない。画像データ等は, XLINK の機能等を用いて EDI メッセージと結びつけるものとする。

11. 特殊データの構造

11.1 受信確認メッセージ

受信確認メッセージは, 受信者が解釈可能な業務処理メッセージを受信できたか否かを送信者に通知するメッセージである。

受信確認メッセージは, 受信確認メッセージ開始タグ<JPAKM SEQ="x"> (xはシーケンス番号, 最大5桁) で始まり, 下記に示すデータ要素を含み, 受信確認メッセージ終了タグ</JPAKM>で終わる。

受信確認メッセージ 開始タグ	データ要素	データ要素	受信確認メッセージ 終了タグ
-------------------	-------	-------	-------	-------------------

図8 受信確認メッセージの構造

CII 標準ベース XML/EDI における受信確認メッセージには, 次のデータ要素を含む。

表6 受信確認メッセージのデータ要素

タグ	データ要素名	内 容	
JPE51	受信したメッセージグループ内のデータ要素の内容を送り返す。	JPC03	運用モード
		JPC04	発信 EDI サービス事業者コード *1
		JPC05	発信センターコード *1
		JPC06	発信者コード
		JPC07	受信 EDI サービス事業者コード *1
		JPC08	受信センターコード *1
		JPC09	受信者コード
		JPC10	B P I D機関コード
		JPC11	B P I D副機関コード
		JPC12	B P I D版
		JPC14	情報区分コード
		JPC17	様式種別 *1
		JPC18	交換参照番号 *1
JPC19	作成日付時刻		
JPE55	エラーフラグ 1	-	
JPE56	エラーフラグ 2 *2	-	
JPE57	エラーフラグ 3 *2	-	
JPE58	エラーフラグ 4 *2	-	
JPE59	エラーフラグ 5 *2	-	
JPE60	作成日付時刻	-	

*1 任意使用。受信メッセージグループヘッダに使用されていた場合のみ、使用可。

*2 任意使用。

備考： データ要素の定義，データ型及び長さは，JIS X 7012-1，-2，-3 (CII シンタクスルール 3.00) による。

エラーフラグ 1 ~ 5 には以下のコードのいずれかを格納する。

11.2 エラー情報メッセージ

エラー情報メッセージは，EDI サービス事業者が，交換処理等の際し，エラーが発生したことを，送信者に伝えるメッセージである。

エラー情報メッセージは，エラー情報メッセージ開始タグ<JPERM SEQ=" x "> (x はシーケンス番号，最大 5 桁) で始まり，下記に示すデータ要素を含み，エラー情報メッセージ終了タグ</JPERM>で終わる。

表7 エラー情報メッセージのデータ要素

タグ	データ要素名	内 容	
JPE71	エラーが発生したメッセージグループ内のデータ要素の内容を送り返す。	JPC03	運用モード
		JPC04	発信 EDI サービス事業者コード *1
		JPC05	発信センターコード *1
		JPC06	発信者コード
		JPC07	受信 EDI サービス事業者コード *1
		JPC08	受信センターコード *1
		JPC09	受信者コード
		JPC10	B P I D機関コード
		JPC11	B P I D副機関コード
		JPC12	B P I D版
		JPC14	情報区分コード
		JPC17	様式種別 *1
		JPC18	交換参照番号 *1
		JPC19	作成日付時刻
		JPC21	構文規則識別版数*1
JPC23	格納モード *1		
JPC24	1バイト文字集合 *1		
JPC25	2バイト文字集合 *1		
JPE75	エラーフラグ 1	-	
JPE76	エラーフラグ 2 *2	-	
JPE77	エラーフラグ 3 *2	-	
JPE78	エラーフラグ 4 *2	-	
JPE79	エラーフラグ 5 *2	-	
JPE80	作成日付時刻	-	

*1 任意使用。受信メッセージグループヘッダに使用されていた場合のみ、使用可。

*2 任意使用。

表8 受信確認メッセージ及びエラー情報メッセージで用いるエラーコード

コード値	エラー内容	CII 標準ベース XML/EDI における使用の可否
(間隔)	エラーなし。	可
00	エラーなし。	可
01	取決め以外の情報区分コード(トランスレーターの構造によっては、使用されない)。	可
02	メッセージグループ見出しが見つからない。	不可
03	メッセージグループ後書きが見つからない。	不可
04	構文規則識別版数の不正。	可
05	分割区分の不正順序。	不可
10	未定義制御タグの検出。	不可
11	不正データタグ検出。	可
12	マルチ明細見出しが実行形式変換テーブル上にない。	可
13	マルチ明細後書きが実行形式変換テーブル上にない。	可
14	固有側(標準側)繰返しが標準側(固有側)繰返しを超えた。	可
15	データ長が最大値を超えた。	可
16	エラー検出用データの値が数値でない。	不可
17	数値変換のデータ要素の値が数値でない。	可
18	標準側データ長が固有側データ長より大きい。	可
19	レコード区分が 'X'44' でない(メッセージが見つからない)。	不可
20	過大メッセージ長。	可
21	T F D 領域終端子('X'FE')がない。	不可
22	負のデータ有り(9型データのときなど)。	可
30	順序番号が昇順ではない。	可
31	エラー検出用データによる検査で、エラー検出。	可
32	実行形式変換テーブルサーチ不能。	可
33	不正文字コードの検出。	可
36	Y型データ要素(日付)の値の不正。	可
81	交換エラー。	可
82	同報エラー。	不可
99	その他のエラー。	可(XMLの文法エラー)

11.3 同報ヘッダ

同報ヘッダは、CII 標準ベース XML/EDI にはマッピングしない。

12. メッセージグループの構造

メッセージグループは、メッセージグループ開始タグ<JPMGRP SEQ=" × ">(× はシーケンス番号、最大5桁)で始まり、一つのメッセージグループヘッダ及びゼロ個以上のメッセ

ージを含み、メッセージグループ終了タグ</JPMGRP>で終わる。メッセージグループトレーラは用いない。

メッセージグループ内のメッセージが、ゼロ個の場合はゼロ件運用電文、メッセージが一つの場合は短縮形メッセージグループ、メッセージが二つ以上の場合が通常メッセージグループに相当する。

メッセージグループ開始タグ	メッセージグループヘッダ	メッセージ	...	メッセージ	メッセージグループ終了タグ
---------------	--------------	-------	-----	-------	---------------

図9 通常メッセージグループの構造

メッセージグループ開始タグ	メッセージグループヘッダ	メッセージ	メッセージグループ終了タグ
---------------	--------------	-------	---------------

図10 短縮形メッセージグループの構造

メッセージグループ開始タグ	メッセージグループヘッダ	メッセージグループ終了タグ
---------------	--------------	---------------

図11 ゼロ件運用電文の構造

CII 標準ベース XML/EDI においては、メッセージグループ内のメッセージが一つだけの場合に、元になる CII 電文（又は変換後の CII 電文）が通常メッセージグループであるか短縮形メッセージグループであるかの区別は、メッセージグループヘッダ内の短縮表示 JPC29 に表 6 に示す値を設定することで行う。

表9 メッセージグループの種別及び短縮表示の値

メッセージグループの種別	短縮表示 JPC29 のデータ要素値
通常メッセージグループ	S
短縮形メッセージグループ	I

ゼロ件運用電文は、メッセージグループ内の情報区分コード<JPC14>のデータ要素値として 9101 を設定しなければならない。

13. 交換単位の構造

CII 標準ベース XML/EDI の交換単位は、XML 宣言で始まり、その後ろに XML 電文開始タグ（ルートタグ）、1つ以上のメッセージグループ及び XML 電文終了タグからなる。ルートタグは、CII-MSG とし、アトリビュートとして BPID 機関コード BPID="XXXX"（4桁）、BPID

副機関コード BPIDSUB="XX" (2桁), BPID 版 BPIDVER="XX" (2桁), 情報区分コード MSGID 及びマッピング規則バージョン MAPVER を記述する。これらのアトリビュートの内, BPID 機関コード及びマッピング規則バージョンは必須であり、BPID 副機関コード, BPID 版及び情報区分コードは任意である。

例 <CII-MSG BPID="HWSW" BPIDSUB="00" BPIDVER="1A" MSGID="0110" MAPVER="1.1-1A">

ただし, 1 交換単位に複数メッセージグループを格納する場合は BPID 版, 情報区分コードは指定してはならない。

例 <CII-MSG BPID="HWSW" BPIDSUB="00" MAPVER="1.1-1A">

受信確認メッセージのルートタグは, CII-AKM にアトリビュートとしてマッピング規則のバージョンを付けたものとする。

例 <CII-AKM MAPVER="1.1-1A">

エラー情報メッセージのルートタグは, CII-ERM にアトリビュートとしてマッピング規則のバージョンを付けたものとする。

例 <CII-ERM MAPVER="1.1-1A">

なお, このマッピング規則のバージョンは, 1.1-1A 又は 1.1-1B である。可変長データ要素のタグとして JP00001 のようなタグ番号を使用する場合は 1.1-1A、メッセージ仕様に定められたデータ要素名称を使用する場合は 1.1-1B である。

XML 宣言	XML 電文 開始タグ	メッセージ グループ	...	メッセージ グループ	XML 電文 終了タグ
--------	----------------	---------------	-----	---------------	----------------

図 1 2 交換単位の構造

附属書 1 (参考) XML 電文の例 (その 1)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<?xml-stylesheet href="HWSWXSL4.xsl" type="text/xsl" ?>
<CII-MSG BPID="HWSW" BPIDSUB="00" BPIDVER="1A" MSGID="0110"
MAPVER="1.1-1A">
<!-- 小型コンピュータ業界 EDI 取引標準 0 0 1 A 版商品情報 -->
<JPMGRP SEQ="1">
<JPMGH>
<JPC03>0</JPC03>
<JPC04></JPC04>
<JPC05></JPC05>
<JPC06></JPC06>
<JPC07></JPC07>
<JPC08></JPC08>
<JPC09></JPC09>
<JPC10>HWSW</JPC10>
<JPC11>00</JPC11>
<JPC12>1A</JPC12>
<JPC14>0110</JPC14>
<JPC18>00001</JPC18>
<JPC19>990602135843</JPC19>
<JPC21>CII300</JPC21>
<JPC29>I</JPC29>
<JPC30></JPC30>
<JPC31></JPC31>
<JPC32></JPC32>
<JPC33></JPC33>
<JPC34></JPC34>
<JPC35></JPC35>
</JPMGH>
<JPTRM SEQ="1">
<JP27001>00001</JP27001>
<JP27002>0110</JP27002>
<JP27003>19990602</JP27003>
<JP27187>171539</JP27187>
```

<JP27004>506022000001</JP27004>
<JP27005>506022000002</JP27005>
<JP27008>1</JP27008>
<JP27082>1</JP27082>
<JP27035>4900000000000</JP27035>
<JP27040>パソコン</JP27040>
<JP27083>パーソナルコンピュータ</JP27083>
<JP27084>パーソナルコンピュータ</JP27084>
<JP27036>JIPDEC-CII-00001-abc-4567</JP27036>
<JP27091>0</JP27091>
<JP27092>1</JP27092>
<JP27103>2</JP27103>
<JPM MN="5">
 <JPMR MN="5">
 <JP27104>50250</JP27104>
 <JP27105>40500</JP27105>
 <JP27106>65125</JP27106>
 </JPMR>
 <JPMR MN="5">
 <JP27104>39765</JP27104>
 <JP27105>82233</JP27105>
 <JP27106>45015</JP27106>
 </JPMR>
</JPM>
<JP27109>CM</JP27109>
<JP27113>1</JP27113>
<JP27114>1</JP27114>
<JP27134>0</JP27134>
<JP27135>0</JP27135>
<JP27044>298000025</JP27044>
<JP27138>1</JP27138>
<JP27017>このメッセージの内容は架空のものです。</JP27017>
</JPTRM>
</JPMGRP>
</CII-MSG>

附属書 2 (参考) X M L 電文の例 (その 2)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<CII-MSG BPID="HWSW" BPIDSUB="00" BPIDVER="1A" MSGID="0110" MAPVER="1.1-1B">
<!-- 小型コンピュータ業界 EDI 取引標準 0 0 1 A 版商品情報 -->
<JPMGRP SEQ= " 1 " >
<JPMGH>
<JPC03>0</JPC03>
<JPC04></JPC04>
<JPC05></JPC05>
<JPC06></JPC06>
<JPC07></JPC07>
<JPC08></JPC08>
<JPC09></JPC09>
<JPC10>HWSW</JPC10>
<JPC11>00</JPC11>
<JPC12>1A</JPC12>
<JPC14>0110</JPC14>
<JPC18>00001</JPC18>
<JPC19>990602135843</JPC19>
<JPC21>CII300</JPC21>
<JPC29>I</JPC29>
<JPC30></JPC30>
<JPC31></JPC31>
<JPC32></JPC32>
<JPC33></JPC33>
<JPC34></JPC34>
<JPC35></JPC35>
</JPMGH>
<JPTRM SEQ="1">
  <データ処理番号>00001</データ処理番号>
  <情報区分コード>0110</情報区分コード>
  <データ作成日>19990602</データ作成日>
  <データ作成時間>171539</データ作成時間>
  <発注者コード>506022000001</発注者コード>
```

<受注者コード>506022000002</受注者コード>
<訂正区分>1</訂正区分>
<EDI 受注コード>1</EDI 受注コード>
<J A Nコード>4900000000000</ J A Nコード>
<製品名-全角->パソコン</製品名-全角->
<正式名称-全角->パーソナルコンピュータ</正式名称-全角->
<正式名称-半角->パーソナルコンピュータ</正式名称-半角->
<受注者製品コード>JIPDEC-C11-00001-abc-4567</受注者製品コード>
<製品言語区分>0</製品言語区分>
<日本語マニュアル>1</日本語マニュアル>
<JPM MN= " 3 " >
 <JPMR MN= " 3 " >
 <対応OS>MS/DOS</対応OS>
 </JPMR>
 <JPMR MN= " 3 " >
 <対応OS>Windows95</対応OS>
 </JPMR>

 <JPMR MN= " 3 " >
 <対応OS>Windows98</対応OS>
 </JPMR>
 <JPMR MN= " 3 " >
 <対応OS>WindowsNT</対応OS>
 </JPMR>
 <JPMR MN= " 3 " >
 <対応OS>UNIX</対応OS>
 </JPMR>

</JPM MN= " 3 " >

<分箱情報>2</分箱情報>
<JPM MN= " 5 " >
 <JPMR MN= " 5 " >
 <寸法-たて->50.25</寸法-たて->
 <寸法-横->40.5</寸法-横->
 <寸法-高さ->65.125</寸法-高さ->
 </JPMR>

```
<JPMR MN= " 5 " >
</JPMR>
<JPMR MN= " 5 " >
  <寸法-たて->39.765</寸法-たて->
  <寸法-横->82.233</寸法-横->
  <寸法-高さ->45.015</寸法-高さ->
</JPMR>
</JPM>
<長さ単位>CM</長さ単位>
<最低出荷単位区分>1</最低出荷単位区分>
<最低出荷数>1</最低出荷数>
<オープンプライス区分>0</オープンプライス区分>
<通貨単位>0</通貨単位>
<単価>298000.025</単価>
<消費税区分>1</消費税区分>
<備考-全角->このメッセージの内容は架空のものです。</備考-全角->
</JPTRM>
</JPMGRP >
</CII-MSG>
```